

2026年
7月発行
第37号

宝同協だより

め ば 芽 生 え

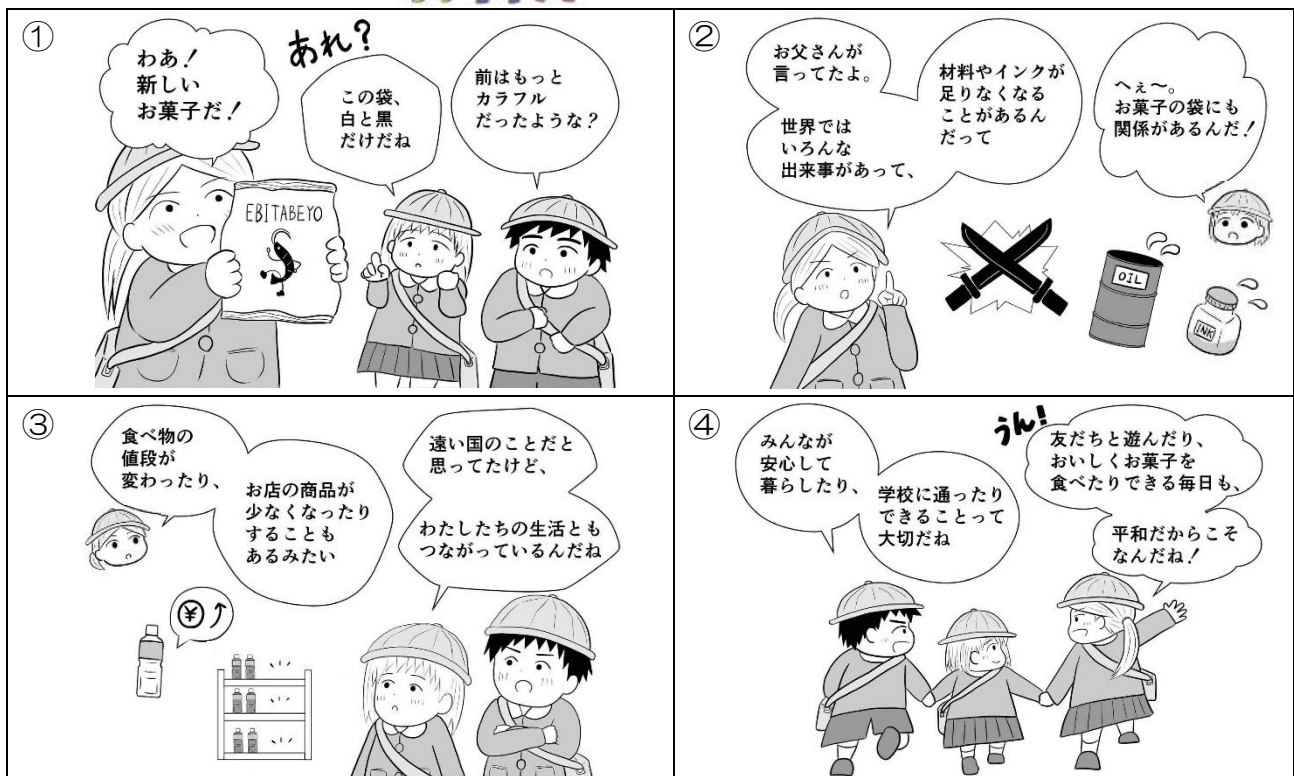


編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号（宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内）TEL：0797-77-2040/FAX：0797-71-1891

みんなで考えよう。「平和」ってなんだろう？

「なんでトリオ  」といっしょに考えましょう



平和だからこそできることがみんなの周りにはどれくらいあるでしょう？



当たり前に見える毎日も、多くの人に支えられています。
人権と平和はつながっています。
人権とは、『一人ひとりが大切にされ、自分らしく生きるための権利』です。
例えば

- ・安心して生活ができること
- ・学校へ行き、勉強ができること
- ・自分の考えを話すことができること
- ・差別されないこと

これらは、みんなの大切な人権です。平和な社会では、一人ひとりの人権が守られやすくなります。そして、人権を大切にすることが平和につながります。

人権ってむずかしい言葉に聞こえるけど、「一人ひとりが大切にされる」ってことなんだね。

一人ひとりを大切にすることが
未来の平和につながっていきます。



宝同協定期総会

5月20日(水)に、2026年度宝同協定期総会をソリオホールにて開催いたしました。出席者は、145名(委任状163名)と、多くの方がご参加くださり人権・同和教育を大切にしてくださっているみなさんの思いが改めて感じられました。

しみずまゆこさんによる「からくり布シアター」の公演の後、総会宣言が和久会長によって行われ、議事が進行されました。昨年度の活動報告、会計報告、監査報告が承認され、今年度の役員選出、活動方針案、予算案が全て可決されました。今年度も活発で実りある活動にしていきたいものです。総会後には、兵庫県人権啓発DVD『見上げれば』を鑑賞して閉会しました。【吉野】

総 会 宣 言

私たちは知っています

子どもたちが「いじめ」にあいながらも

歯をくいしばって耐えていることを

私たちは感じています

「不登校」の子どもたちの内面が見えないことも

「どうして」が分かり合えないことも

私たちは体感しています

米の高騰をはじめ あらゆる物価の値上がりを

その原因の徹底した究明を怠り 隠すことを

私たちは痛感しています

世界の平和も 豊かな暮らしも 詐欺被害も

なかなか変わっていかないことを

それでも 私たちは解かっています

まっとうな教育と啓発は人を変え 社会を変え

時には世界を動かすことを

私たちは感じています

AIは間違ってもそのまま通り過ぎるけれど

人は取り返すことができることを

私たちは誓うことができます

平和を守ることを ひとりも取り残さないことを

違いを認め合うことを 自他の人権を守ることを

2026年5月20日

宝塚市人権・同和教育協議会

2026年度 宝同協選出役員

役 職 名	名 前	部 会 名
会 長	わく ありひこ 和久 有彦	社会教育部
副 会 長 (総務担当)	はまだ あつのり 濱田 篤則	社会教育部
副 会 長 (総務担当)	わたなべ かすえ 渡辺 和恵	社会教育部
副 会 長 (研究担当)	はやし じゅんこ 林 純子	社会教育部
副 会 長 (啓発・広報担当)	ひらまつ ゆき 平松 友紀	社会教育部
副 会 長 (調査・記録担当)	むろさき としひろ 室崎 俊洋	社会教育部
副 会 長 (会計担当)	にしぐち のぶゆき 西口 信幸	学校教育部
学校教育部 部 長	にしぐち のぶゆき 西口 信幸	学校教育部
社会教育部 部 長	にしばやし ようこ 西林 陽子	社会教育部
行 政 部 部 長	なかで かつや 中出 勝也	行 政 部
企 業 部 部 長	(未決定)	企 業 部
校区人権啓発部 部 長	よしもと ゆうこ 吉本 祐子	校区人権啓発部
監 査	いとう あきら 伊藤 章	学校教育部
監 査	さかい ようこ 酒井 洋子	社会教育部



オープニング



議事進行の様子



兵庫県人権啓発DVD「見上げれば」

今回の作品のテーマは「社会におけるひきこもりと人権～誰もが支え合える社会の実現をめざして～」です。

ひきこもりの背景や状態は人それぞれですが、長期化すると社会や人に対する恐怖感が強まり、本人や家族の人生に深刻な影響を与えます。就職・再就職の難しさ、家族もどうしていいかわからず心身が疲弊するなど、その苦悩は計り知れません。さらに、地域社会との関わりが乏しく存在が見えづらいため、家族だけで悩みを抱え込む現実があります。このドラマでは、できるだけ早い段階で適切な支援につながることの重要性、信頼できる他者とのつながりや、寄り添ってくれる人のいる「居場所」が回復のきっかけになることを伝えます。どのような状況の人にも、寄り添い合い、誰もが支え合える社会の実現をめざし、人権啓発ドラマを制作しました。

※兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会チラシより抜粋(上映時間34分)

(このDVDは、学校教育課で貸出しています。)



連載

夢と希望はどっち？ ③2年寄りを元気にさせる

今朝も「忘れものない？」「8人そろったから、出発しようか」と声をかけて小学校の校門まで付き添います。登校班の子どもたちが集合する場所が、我が家の前なので、誰かに頼まれたわけでもありませんが、ここ15年ほど毎日のように続けます。

校門までわずか400メートルほどですが、歩きながら「歌、歌っていいよ」とか「あいさつされたら、あいさつね」とか、道端のスミレの花を見つけたら「あつ、スミレの花だ」などと話しかけます。昨日は、2年生が「あつ、毛虫だ」と黒い大きな毛虫を見つけてます。「何になるの？」と聞くと、「蛾だよ」と教えてくれます。今日は、歩き始めてすぐ3年生が「あつ、忘れ物！」と訴えます。「大丈夫、待っててあげるから、気を付けて取りに帰っておいで」と促します。

昨今、子どもの安全とか、不審者からの見守りとか、保護者負担の軽減、先生たちの超過勤務などが問題・課題とされていますが、私にとってはそんなことは、あまり関係ありません。そこに子どもがいるから、守るだけであり、付き添うだけです。それと、子どもたちは、年寄りを若返らせてくれるし、生活リズムを整えさせてくれます。それと、1年生もいるので、先頭の6年生はゆっくり歩いてくれます。脚の関節を患っている私にとってはちょうどよいスピードで助かっています。



阪神同教研究大会

7月25日(土)午前、第73回兵庫県人権教育研究大会阪神地区大会が、三田学園中学校・高等学校で行われます。宝同協からの分科会発表者は下記のとおりです。

伊波 綾子さん(宝塚市立末成幼稚園)

テーマ

自分の思いを素直に表現し、互いのよさを感じ合う
学級づくり

小西 裕介さん(宝塚市立丸橋小学校)

テーマ

人権尊重の精神に基づいた学校風土をめざして
～丸橋っ子とともに人権感覚を高める人権・同和教育推進の取組～

山村 長史さん(雲雀丘学園中学校・高等学校)

テーマ

雲雀丘学園の人権教育
～実践と課題～

瀧本 広輝さん(宝塚市立安倉中学校)

テーマ

生徒を見捨てない取組
～進路を見据えた指導～

中村美智代さん・深谷かおりさん

(宝同協地域教材作成委員会)

テーマ

えんぴつを友に～識字生・中村美智代の詩と作文～

宝同協作成第2作目

『えんぴつを友に』

＝中村美智代の詩と作文集＝

今年7月に発行・阪神大会で発表



2026年度 第16回 宝同協研究大会「人権交流学びのつとめ」のご案内

テーマ 『あなたに伝えたい わたしの思い』

日時：2027年1月16日(土) 13:20～16:20

場所：宝塚市立教育総合センター

日程：全体会 13:20～14:00

分科会 14:10～16:20

報告者
大募集!!
詳細は

分科会テーマ(仮)

- ★ 子どもの人権を考える
- ★ 障がいのある人たちとの共生
- ★ さまざまな性について考える
- ★ 学校園所の人権教育
- ★ 部落差別を考える
- ★ 外国人の人権を考える
- ★ 若者の挑戦と未来

芽生えパズル



3字 せかい・こせい

4字 こうへい・やさしさ・よりそい

5字 おもいやり・はなしあい

ありのまま

8字 ななころびやおき

○たて・よこのマス目に上の文字を
うまくあてはめます。

○網掛けのある数字のマス目に入った
文字を番号順に並べます。

【谷口】

Hearton-zu 「一番長い日」 (ハートンズ)

- オジン 「みんなの『一番長い日』教えて欲しいなあ」
- オバン 「わたしは庭で猫のミーと遊んでいるときかなあ、あなたは？」
- オジン 「ワシはやっぱり 8 月 15 日の終戦の日かなあ」
- オカン 「わたしらはパートの手当が出る日が待ちどおしくて長いねえ」
- ネー 「あたしは彼氏と会える日だもん」
- ニー 「おれは彼女にバイバイ言われた日」
- オトン 「お前らは単純だなあ」
- ボク 「そう言うオトンの一番長い日は？」
- オトン 「お前らが病気になってフーフーなっている時だよ」
- ボク 「そうなんだ、アリガト、ぼくが一番長い日わかる？」
- オカン 「わかるよ。8 月 30 日だよネ」
- ネー 「そうそう、毎年宿題たまっていて大変だもんね」
- ボク 「ばれたか〜」

学校の様子



良元小学校

6年生が全校生に「平和の大切なさや折り鶴の意味」を伝え、平和への願いを込めながら、みんなで教え合い、折り鶴を折る集会を行いました。完成した折り鶴は、6年生が代表して広島に持って行き、平和を願います。【櫛橋】

街角風景



ショウジョウトンボ

【平松】

★ 編集後記 ★

宝同協だより「芽生え」を最後までお読みくださり、ありがとうございました。今回の「芽生え」では、なんでトリオと一緒に「平和だからこそできること」について考えました。当たり前のように過ごせる毎日に感謝し、自分のことも相手のことも大切に思い、平和な社会を願い続けたいです。

【渡辺】

宝同協だより「芽生え」編集委員

渡辺 和恵・平松 友紀・森崎 英二・櫛橋 美緒
谷口 史則・頼重 優・横山 純子・和久 有彦
伊藤 大輔・吉野 大樹・石櫃 孝啓・清水 浩明
美除 浩

芽生えのなをきかせよう